



EIFS JAPAN 株式会社

静岡県掛川市青葉台 1-7 Tel : 0537-23-3992 Fax : 0537-23-3993 www.eifsjapan.com info@eifsjapan.com

EIFS JAPAN 改修工事報告書 【赤羽病院】

【工事名：赤羽病院】

【工事期間：2020年2月～4月】

【工事内容：外壁防水外断熱・パイプ塗装・看板取替・ベランダ防水】

【工事目的：雨漏り対策・快適な温度湿度調整対策・デザイン性



【外壁防水外断熱工事】

➤ 改修前

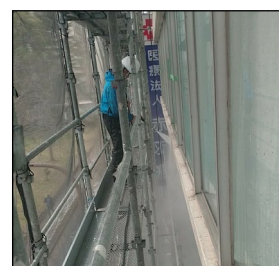
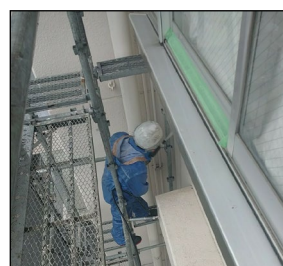
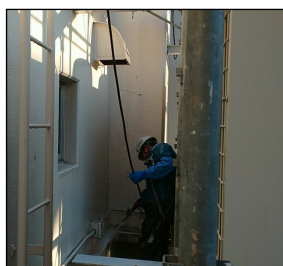
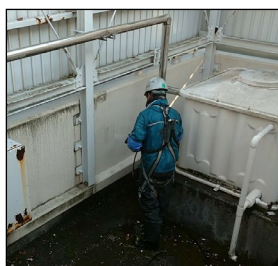


➤ 改修後

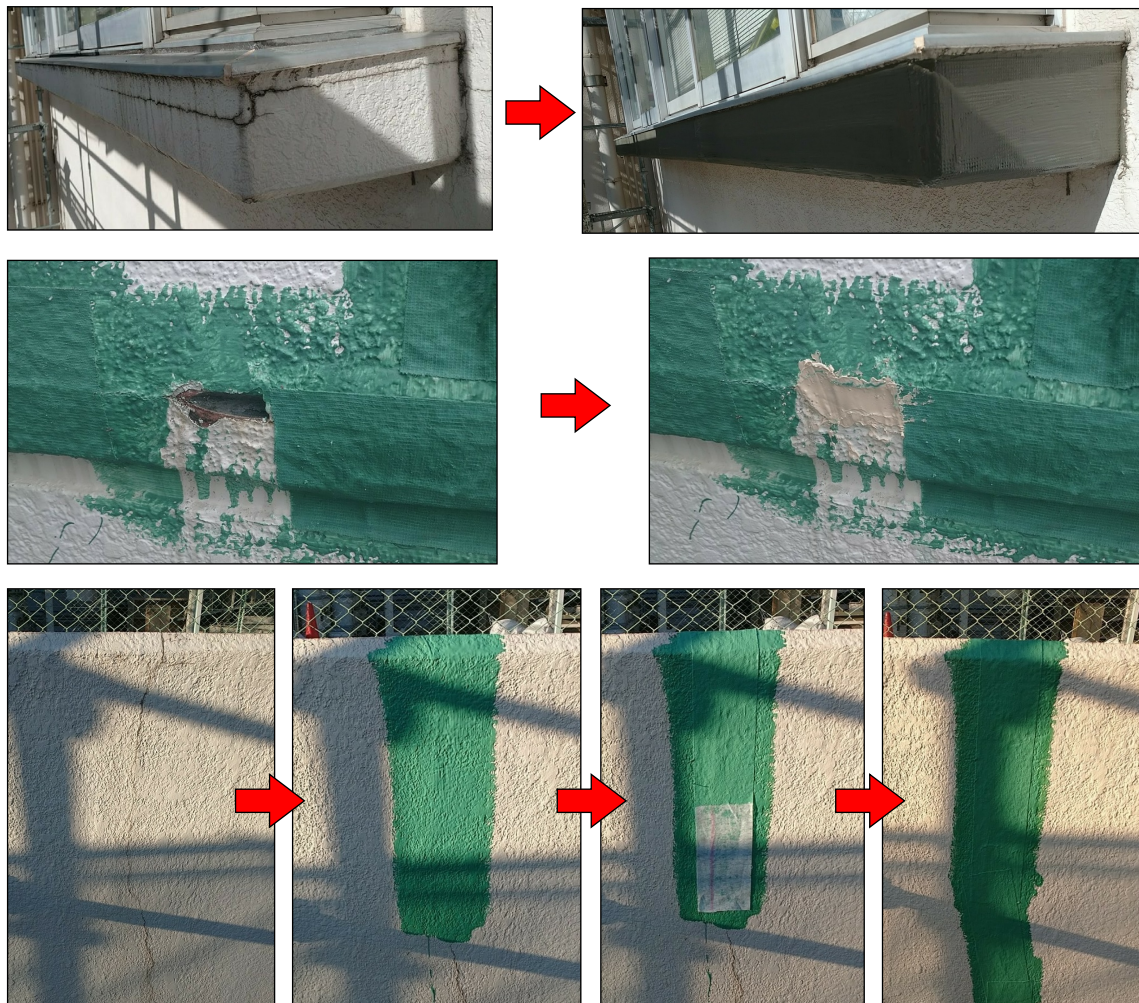


【外壁防水外断熱工事内容】

① 外壁全体を高圧洗浄機で洗浄



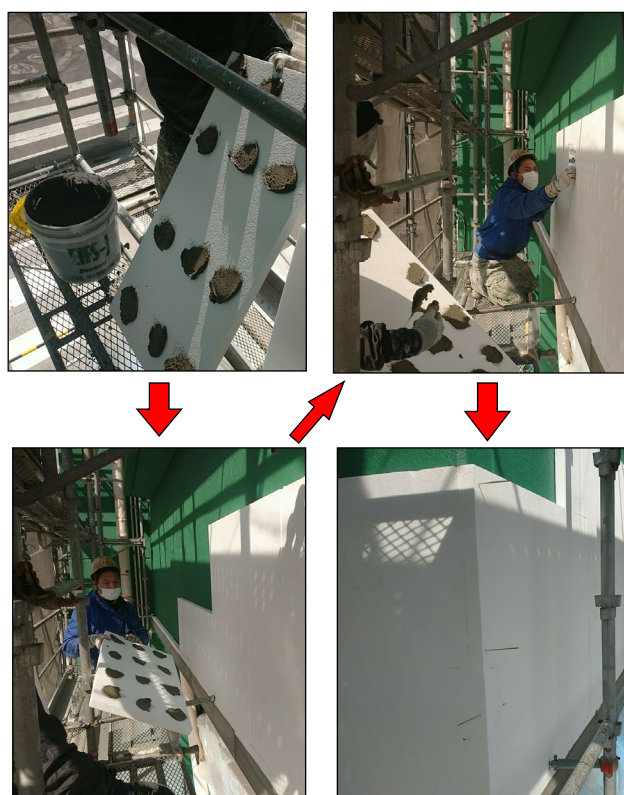
② 補修（ひび割れ、穴、錆による劣化部分、水漏れ箇所など多数）



③ 防水材・ガーディアン 2 度塗り



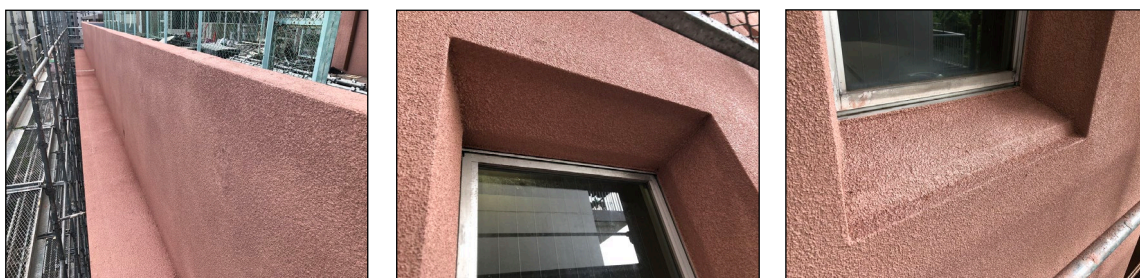
④ 断熱材（EPS）の張り付け



⑤ 下地材ベースコートの塗布と補強用メッシュの張り込み



⑥ 仕上げ材の塗布



【外壁防水外断熱工事仕様商品案内】

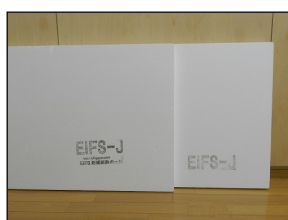
① 下地補修防水商品（工事内容②と③に使用された商品）

エポキシ・プライマー	ガーディアン・ジョイント・シーラント	ガーディアン	ファブリック・メッシュ
下地劣化防止・接着力強化材	下地補修防水材	下地防水材	補強防水材
水性エポキシ樹脂	水性アクリル 100% エラストマー性シーラント	水性アクリル 100% エラストマー性	ポリエステル 100%
あらゆる多孔性の下地に浸透し空隙を目止めし、粉化した下地を固化し高密度の面を作り上げ表面の劣化を防ぎ、また上塗り材の接着力を高めるプライマー及びシーラー材	木材・スタッコ・コンクリート・スチール・レンガなど殆どの材質に接着し、継目、割目、接合部、突出部、水切り等、劣化の原因となる雨水や漏水を遮断する下地補修防水塗膜材	木材・スタッコ・コンクリート・スチール・レンガなど殆どの材質に接着し、劣化の原因となる雨水や漏水を遮断し、湿気による結露を調湿機能によって防止する下地防水塗膜材	ガーディアン・ジョイント・シーラント及びガーディアンと使用し、継目、割目、接合部、突出部、水切り等の箇所を優れた伸張性と柔軟性によって補強防水するステッチボンド（縫合）ファブリック材

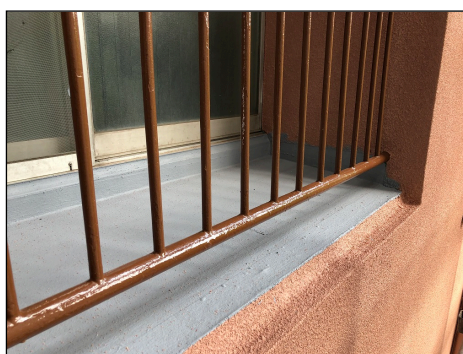


② 外断熱工法商品（工事内容④、⑤、⑥で使用された商品）

EIFS-J ボード	EJ ベースコート	メッシュ	EJ フィニッシュコート
断熱材	下地材	下地補強材	仕上げ材
発泡ポリスチレンボード	水性アクリル 100%ポリマー	グラスファイバー	水性アクリル 100%ポリマー
熱伝導率の長期経時変化が少ない優れた断熱性能、揺れ・振動に対応できる追従性と耐震性能、湿気を透して結露を防ぐ透湿性能、加工が容易なデザイン性能に優れた外断熱工法用の断熱材	コンクリート・石材・レンガ・スタッコなどの下塗り用、また EIFS-J ボードなど断熱材の接着剤として使用でき、撥水性、耐久性、柔軟性に優れ、振動に強い下地材	耐アルカリ性で特殊織りの樹脂加工グラスファイバーメッシュは、ベースコートで張り込むことによりクラックや衝撃による抵抗力を高め表面の耐衝撃性と耐久性を維持する下地補強材	コンクリート、石材、レンガ・スタッコ等の仕上げ材として使用でき、暴風雨、紫外線、摩耗などから守り、美しい色調とテクスチャーを維持する耐候バリアスタッコ仕上げ材



【ベランダ・屋上壁防水工事】



ベランダ床面



屋上外壁壁面

【仕様商品案内】

ランノトップ
耐摩耗性劣化防止仕上げ材
水性アクリル系エポキシ
耐摩耗性と耐久性が必要な歩道、屋上、床面、外壁などに使用でき、滑り止め用としても使用できる耐摩耗性劣化防止仕上げ材



【改修工事目的への対応】

➤ 改修工事目的

1. 雨漏り対策

- ① 外壁洗浄後、壁面にあるクラック、穴、漏水箇所の全てを下地補修防水商品によって部分防水補修を行う。
- ② 部分防水補修後、壁面全体を隙間なく防水材・ガーディアンで2度塗りする。

 上記の対策により、壁面全体に防水のゴム膜が隙間なく覆われたため、壁面からの漏水を止め防水することができる。但し、屋上部分に関しては弊社の工事ではないため、対象外である。

2. 快適な温度湿度調整対策

- ① 上記の雨漏り対策工事で使用した下地補修防水商品は、結露を防ぐ透湿性能と躯体に含まれる水分を調節できる調湿性能があり、外壁の湿度を調整することができる。補足として、これにより躯体の劣化防止もできる。
- ② 下地補修防水工事の上に施工した EIFS-G システム（防水湿式外断熱工法）は、外壁一面に張り付けた EPS の断熱性能により屋内の温度を一定にすることができる。

 上記の対策により、壁面全体を調湿性能のある防水ゴム膜が多い、更に断熱性能に優れた EPS 断熱材で外壁全体を覆うことにより、外気温を気にしなくても屋内はわずかな温度差だけで一定温度を維持することができる。

3. デザイン性

- ① EIFS-G システム（防水湿式外断熱工法）で使用する EPS 断熱材はカッターナイフで簡単に加工ができるため、外壁表面にある突起物や凹凸、開口部などがあっても、どのようにも容易に対応でき、デザイン性を考えながら断熱性能を維持することができる。

 上記の性能により、壁面に多くあったパイプや穴、サッシ等の開口部にも容易に対応でき、デザイン性を維持しながら断熱性能を高めることができた。

【お客様からの批評】

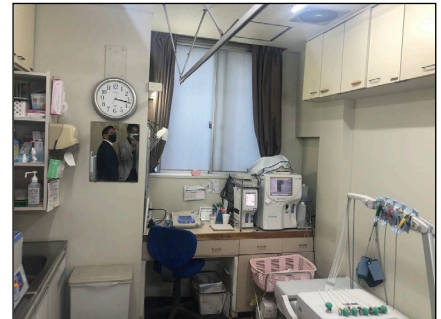
- ✚ 外観は想像していたよりも綺麗な仕上がりで、新築同様になりました。
- ✚ 雨漏りも止りましたから、台風シーズンも安心です。
- ✚ 部屋が湿気でカビ臭く、部屋内の壁表面が濡れていましたが工事後は乾燥しています。



外観、綺麗になりました。



濡れていた壁表面が工事後乾燥してます。



部屋のカビ臭さがなくなりました。

以上、改修工事に関して報告致します。

令和2年6月8日

EIFS JAPAN 株式会社
施工技術課